

図1

病期0—Tis 非浸潤癌

腫瘍		転移				
		T0	T1	T2	T3	T4
M0	N0					
	N1					
	N2					
	N3					
M1						

 病期I	 病期IIB	 病期IIIB	 病期IV
 病期IIIA	 病期IIIA	 病期IIIC	

図2

1. 癌の広がり の程度

- 原発巣の浸潤径
- 領域リンパ節転移個数

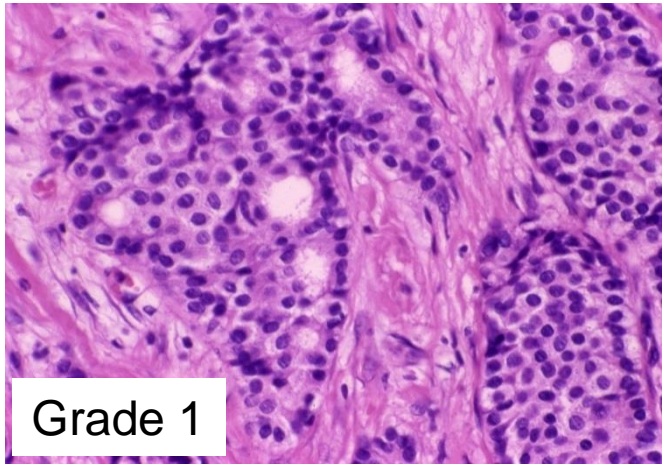
2. 癌細胞の生物学的特性

- ホルモン受容体 (ER, PgR)
- HER2
- 細胞増殖指標 (Ki-67)
- 組織型、病理学的悪性度 (グレード)
- リンパ管、血管侵襲
- 組織学的治療効果

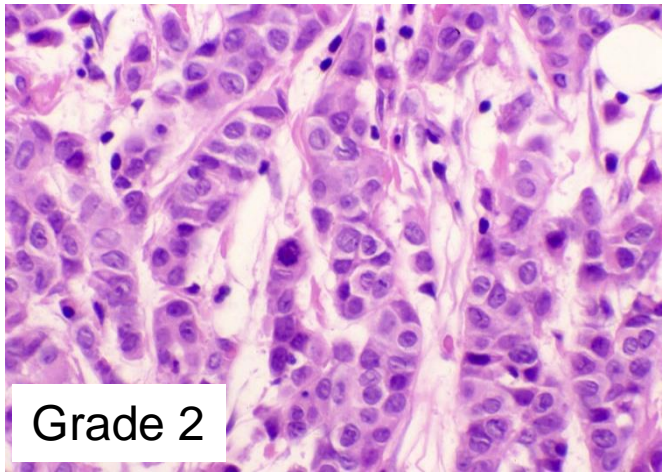
3. 宿主因子

- 年齢
- 免疫

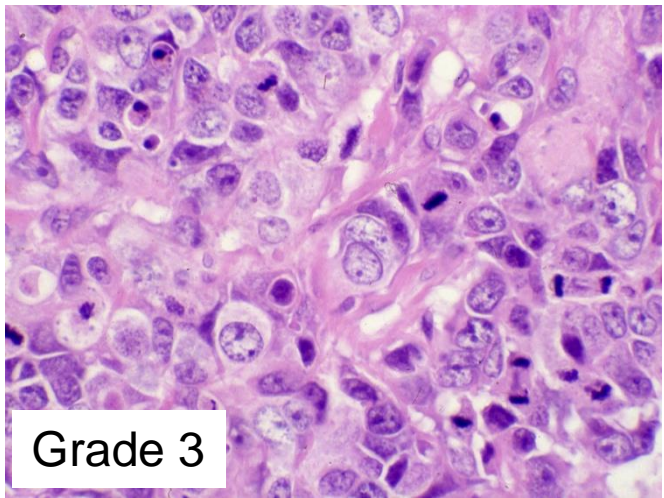
図3



Grade 1



Grade 2



Grade 3

図4

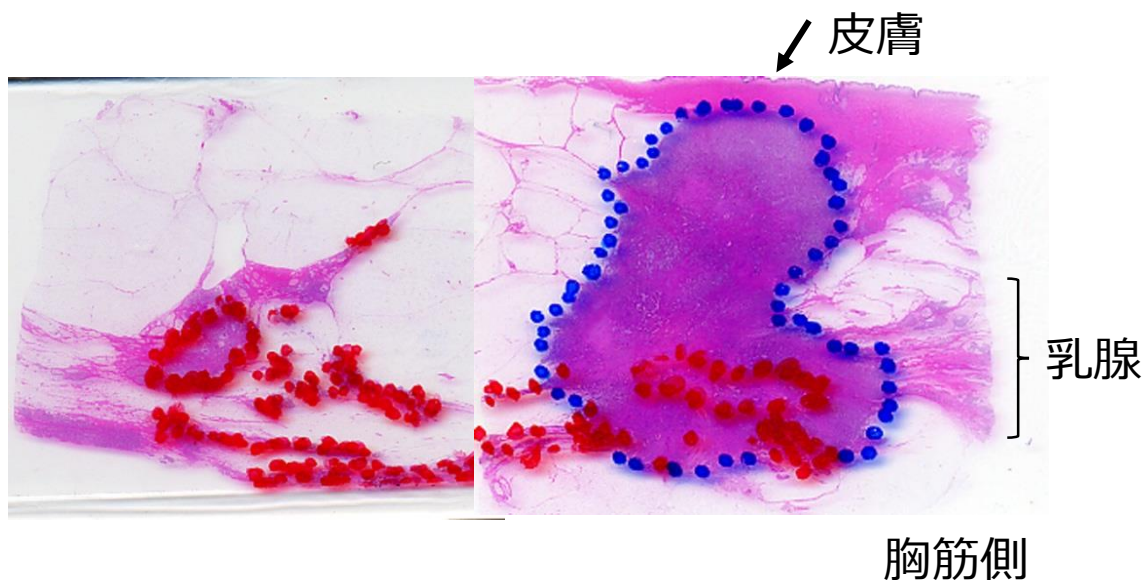


图5

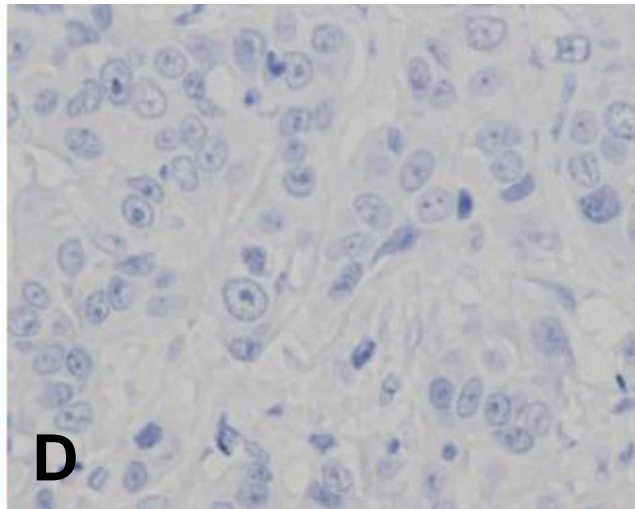
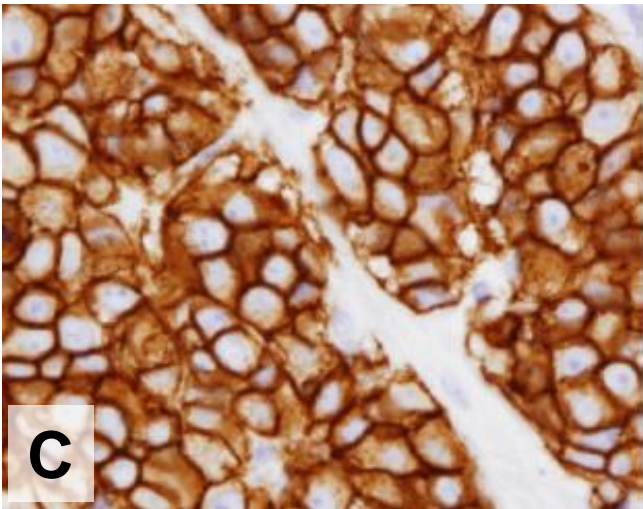
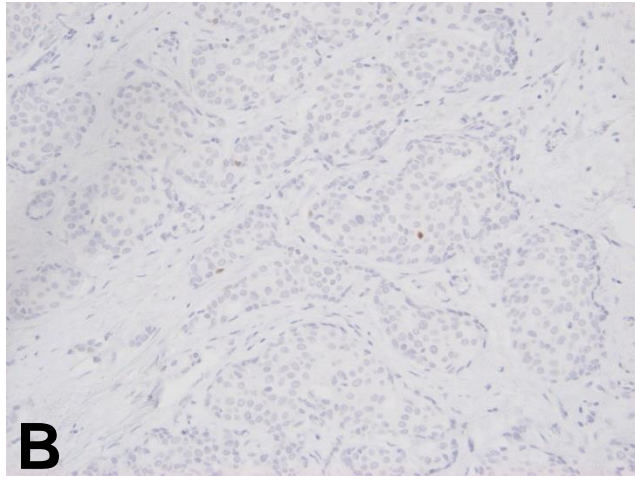
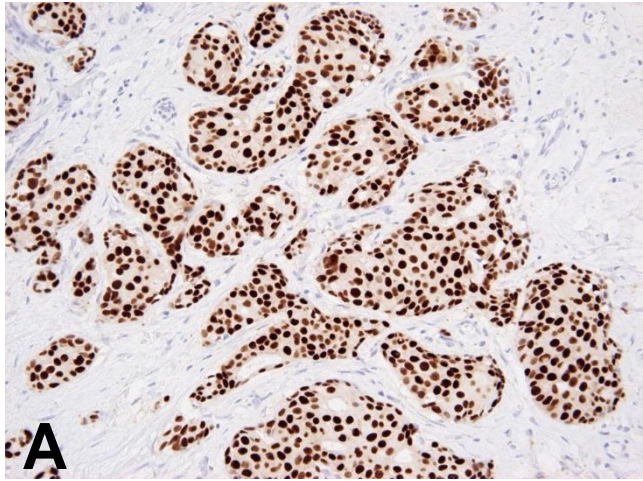


表1. 乳癌組織分類 2)

1. 非浸潤癌

a. 非浸潤性乳管癌

b. 非浸潤性小葉癌

2. 微小浸潤癌

3. 浸潤癌

a. 浸潤性乳管癌

(a) 腺管形成型

(b) 充実型

(c) 硬性型

b. 特殊型

(1) 浸潤性小葉癌

(2) 管状癌

(3) 篩状癌

(4) 粘液癌

(5) 髓様癌

(6) アポクリン癌

(7) 化生癌

(8) 浸潤性微小乳頭癌

(9) 分泌癌

(10) 腺様嚢胞癌

(11) その他

III. Paget病

表2. 乳癌の内因性サブタイプの代替定義 (2013 St. Gallen)³⁾

サブタイプ	臨床病理学的な“代替サブタイプ”定義
ルミナルA	“ルミナルA-like” ERとPgR が陽性、かつHER2 陰性 Ki-67 “低値” (<14%)
ルミナルB	“ルミナルB-like (HER2陰性) ” ER陽性、かつ少なくとも： Ki-67高値 (≥14%)、PgR陰性か低値(<20%)、のいずれか “ルミナルB-like (HER2陽性) ” ER陽性, HER2過剰発現または増幅 (Ki-67, PgRに関わらず)
ErbB2過剰発現	“HER2陽性 (非luminal)” HER2過剰発現または増幅 ER、PgR いずれも陰性
ベーサル様	“トリプルネガティブ (乳管癌) ” ER、PgR いずれも陰性, かつHER2 陰性

表3. ホルモン受容体とHER2の状態に基づく手術可能乳癌患者の治療戦略³⁾

ホルモン受容体 (HR) (ER/PgR)とHER2	内分泌療法	トラスツズマブ (ハーセプチン)	化学療法
“ルミナルA” (ER+ / PgR+ / HER2- / 細胞増殖遅い)	○	×	×または○ (リスクに応じて)
“ルミナルB” (ER+ / HER2+, または ER+ / HER2- / 細胞増殖 速いまたはPgR- or low)	○	×または○	○
ERBB2過剰発現 (HR- / HER2+)	×	○	○
トリプルネガティブ (=ベーサル様) (HR- / HER2-)	×	×	○